

墓石ギャラリーにお越しください。

有限会社 **江先石材店**

岩国市室の木5-8-5 2号線沿い 桜地蔵様よこ

安震 **はかもり**  
免震施工 正規代理店

フリーダイヤル  
**0120-21-3575**  
Tel 0827-21-3577 Fax 0827-21-2784

THE IWAKUNI DAILY NEWSPAPER

# 日刊いわくに

令和5年(2023年)

11月29日  
(水曜日)

購読料  
月額1,650円  
1部90円

発行所/株式会社日刊いわくに 〒740-0012 岩国市元町三丁目6-23 電話/0827-30-1892 F A X / 0827-30-1100 メール iwakuni@sky.plala.or.jp



紅葉が赤く色づいた宇野千代生家の庭で開かれたお茶会

## 生誕126年を記念 宇野千代生家「もみじ茶会」に500人

岩国市川西2丁目の宇野千代生家で25日、千代の生誕126年を記念する「もみじ茶会」が開かれた。先週末の冷え込みで一気に紅葉が進み、庭に植えられたもみじは真っ赤。来場したファンは「わあ、こんなに赤くなっている」と歓声をあげ、景色を愛でながら一服を楽しんだ。

宇野千代(1897〜1996年)が生まれた11月28日に合わせ、「宇野千代顕彰会(島津教恵会長)が毎年、茶会を開催している。岩国茶道連盟に加盟する各流派が持ち回りで担当しており、今年は表千家同門会 県支部岩国地区がもてなした。

**1月6日(土)7日(日)**  
**二級小型土日コース**  
**受講生募集中**  
  
**フリーナビ** TEL(0827) 32-0121(代)  
**整備士急募**

作った。一日で500人が来場、庭の長椅子に座って千代の好物だったという「いがもち」、「抹茶」をいただきながら庭の紅葉と地表を覆う緑のスギコケのコントラストを満喫した。

市内から訪れた女性(65)は「横山の紅葉谷公園の紅葉はもうピークを過ぎていましたが、生家の紅葉はきょうが盛りのおようです。良い巡り合わせです」と話していた。

### 清流

「紅葉は日本の美」とよく言われるが、「いやいや、そうじゃない」という意見を聞く。四季をもつ国は各所にあり、たとえばカナダには「メープル街道」というところがあり、全長約800キロに及ぶ絶景を築き出すことができる。ドイツのデュッセルドルフも運河に紅葉が映り込み、一幅の絵のような景色が生まれる▼ただ、日本と異なるのは同じ色が延々と続くこと。一方、日本の紅葉は実に多彩だ。赤に染まったモミジがあれば原色に近い黄色のイチヨウ、そのまま緑の瑞々しい葉を残す木々があり、まさに錦色となる。平安時代の歌人・藤原公任は「朝まだき嵐の山の寒ければ 紅葉の錦 着ぬ人ぞな

も幸せです」と喜んだ。午前中はしばらく薄曇りの天候だったが、昼前から雲が切れて青空が広がり、生家の庭は木漏れ陽によってさらに豊かな色彩になった。

紅葉や天候を心配していた島津会長は、「おかげさまで絶好の日和となりました。千代先生もきっと喜ばれていることでしょう」と話していた。

「紅葉は日本の美」と風山の晩秋の景観を詠んだ▼多彩な景観が生まれるのは日本列島が南北に長く、さらに高地から低地まで標高差や気温差が大きく、多様な植物相を持つからだ。急峻な山々は清冽で水をふんだんに私たちに与えてくれ、それらがあいまって世界でも稀な景色を生み出す。そんな様子が詩情を誘うのは当たり前だろう▼江戸三大俳師の一人である与謝野蕪村は「山暮れて紅葉の朱を奪うけり」と真つ赤な紅葉も陽が落ちるとともに色を失っていく情景を詠い、明治時代を代表する歌人の正岡子規は「古寺に灯のともりたる紅葉哉」と薄灯りの中で浮かび上がる紅葉の美しさを詠んだ。宇野千代生誕を記念する「もみじ茶会」では来場者から短歌、俳句を募った。